

中部運輸局 交通政策部・自動車交通部

平成28年3月29日定例記者懇談会発表



連絡先
 国土交通省 中部運輸局
 交通政策部 消費者行政・情報課 加納、日笠山
 TEL 052-952-8047
 自動車交通部 貨物課 山内、八木
 TEL 052-952-8037

「中部地方における運輸の動き」(トピックス)

女性トラックドライバー数が24%増加！
 ～トラガールの活躍を応援しています～

1. 女性トラックドライバー数の推移と業務内容

現在、政府においては、一億総活躍社会の実現のため、女性が輝く社会づくりに向けた環境整備を推進しています。

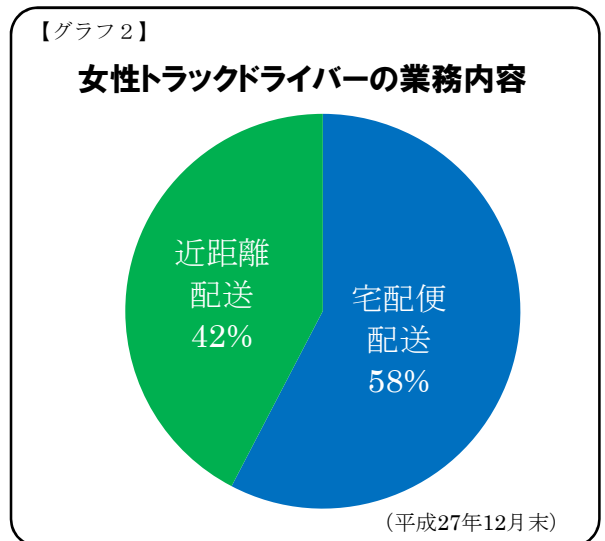
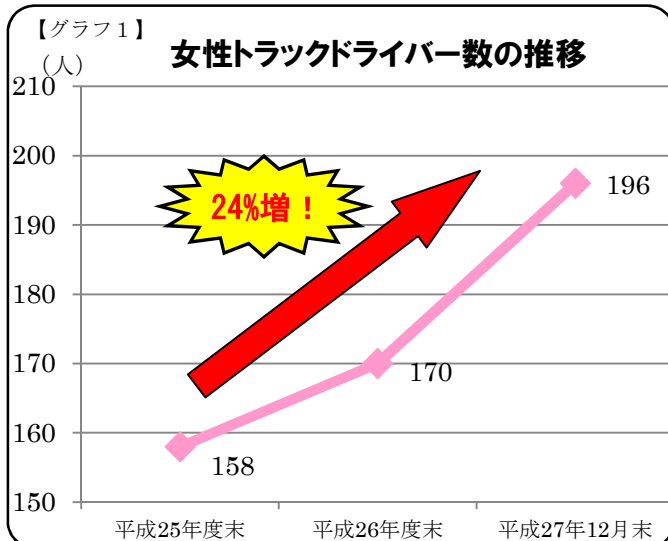
国土交通省では、男性の仕事としてイメージが強いトラックドライバーにおいて、女性トラックドライバーを「トラガール」と名付け、トラック運送業界における女性の活躍を促進するための取り組みを進めています。また、交通政策基本計画には、ドライバー不足の解決策の1つとして、女性トラックドライバー数を平成25年度を基準とし、平成32年度までに倍増させるという目標が定められています。

中部運輸局管内の主要トラック事業者7社*の協力を得て調査を行ったところ、平成27年12月末時点の女性トラックドライバーの数は196人となり、平成25年度末と比較して24%増加しました。【グラフ1参照】

女性トラックドライバーの業務内容の内訳は、宅配便配送が58%、近距離配送が42%となり、短距離・短時間勤務が可能な業務を担当していることがわかります。

【グラフ2参照】

将来のドライバー不足の深刻化を見据えると、今後は長距離配送においても女性が活躍できる環境を整備していくことが求められており、国土交通省では、引き続き女性ドライバー増加のための施策を講じていきます。



(自動車交通部調べ)

*エスラインギフ、近物レックス、佐川急便、西濃運輸、トナミ運輸、日本通運、名鉄運輸 (五十音順)

2. 女性トラックドライバーの活躍を支援する取り組み

(1) 事業者の取り組み

中部運輸局では、トラック事業者の協力を得て、女性トラックドライバーの活躍を支援するため、事業者においてどのような配慮をしているか、どのような課題があるかを調査したところ、主に以下のような回答がありました。

【配慮していること】

- 配達のみで終了するコースや、時間内で配達・集荷が終了するコースに配置している。
- 荷役機器が整備されていない荷主向けの重量物や容積の大きな荷物については、女性ドライバーの担当にならないようにしている。
- 出産・育児休業制度の利用を勧めている。
- 女性が多い事業所に配属し、相談しやすい環境をつくっている。
- ステップアップの道など、モチベーション維持に尽力している。

【課題として考えていること】

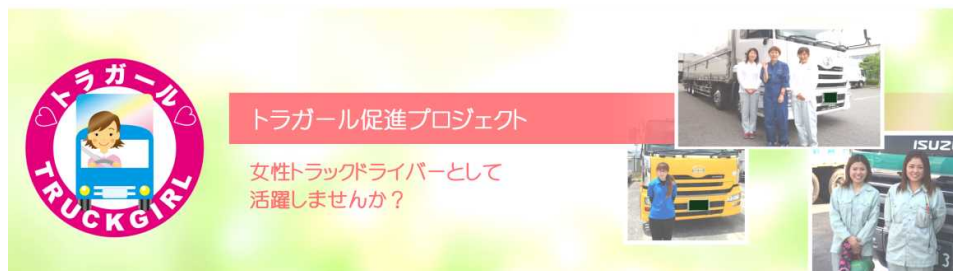
- 配送先や道路事情で終了時間が不安定になることがあり、時間内に終了できる業務への配置が難しい。
- 家庭都合等による急な休みに対応できる勤務体制の構築。
- 体力面において、負担が大きくなるよう仕事内容を考慮しなければならない。
- 女性の体力に応じた安全かつ効率的な荷役方法の構築。

(2) 国の取り組み

国土交通省では、平成26年9月にホームページ内にトラガールサイトを開設しました。全国で活躍する女性ドライバーを紹介し、トラガールを目指す女性に役立つ情報を提供しています。トラガールサイトを通じて、女性ドライバーの活用について経営者等が積極的に考える契機を作り、業界のイメージ改革を図ることを目指しています。



また、配送中、女性用トイレが不足しているとの声もあるため、全日本トラック協会と連携し、荷主団体等へドライバーのトイレ使用等に係る協力要請を行い、協力企業をトラガールサイトで紹介するなどの取組を実施しています。



<http://www.mlit.go.jp/jidosha/tragirl/>

○経営者向けの啓発強化（事業者団体と連携）

トラック事業経営者が、将来的なドライバー不足問題を自社の課題として捉え、その解消に向けて様々な取組を行う契機とすることを目的に、事業者団体との連携のもと、経営者向けパンフレットを作成しました。

パンフレットでは、女性をドライバーとして採用するにあたってのポイントの解説や事業者の取組などを紹介しています。

http://www.mlit.go.jp/jidosha/tragirl/driver_fusoku.pdf

ドライバー不足の
対策していますか？
～トラック運送業の人材採用に向けて～

